

1
2
3

4 Prioris HX Server シリーズ

5 Windows NT Server インストールガイド

6 ServerWORKS Quick Launch Version 1.4

用

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39 μ **S** 日本デジタルイクイップメント株式会社

Version 1.0

はじめに

本書は、「ServerWORKS Quick Launch Version 1.4」CD-ROMが付属している Prioris HX Server シリーズに Windows NT Server 3.51 をインストールする際の、注意事項について説明したものです。「ServerWORKS Quick Launch Version 1.4」CD-ROMが付属している Prioris HX Server シリーズに **Windows NT Server 3.51** をインストールする場合にお読みください。**Windows NT Server 3.51** に付属のマニュアル、ご使用の **Prioris HX Server** に付属のマニュアルおよび装着するオプション装置に付属のマニュアルもあわせてごらんください。

また、本書は ServerWORKS Quick Launch Version 1.4 をもとに記載されています。別のバージョンのソフトウェアでは内容が異なることがあります。

Quick Launch CD-ROM および Quick Launch で作成したディスクレットは必ず添付されていた PRIORIS Server でご使用ください。これらは、システムの設定を変更するソフトウェアを含んでいます。このソフトウェアとシステム BIOS などのバージョンが合わないとシステムが安定して動作しない場合があります。また、システム BIOS をアップグレードすると、通常システムコンフィギュレーションユーティリティ (SCU) も新しいものを使用する必要があります。この場合には、Quick Launch CD-ROM の SCU ではなく新しいシステム BIOS 用の SCU を使用してください。これらのソフトウェアの保管の際には、添付されていた PRIORIS Server の確認ができるように、PRIORIS Server のシリアルナンバを記入したラベルを貼るなどして管理することをおすすめします。

目次

インストールをはじめる前に	2
オプション装置の装着	2
Quick Launch によるセットアップ	5
ユーティリティおよびドライバディスクレットの作成	8
Windows NT Server 3.51 のインストール	9
インストール後の作業	11

ご注意

- 1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3) 本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気づきの点がございましたらご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- 4) 運用した結果の影響につきましては、3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

digital, Digital PC は、米国 **Digital Equipment Corporation** の商標です。

Pentium は、米国 Intel 社の商標です。

Phoenix BIOS は、米国 Phoenix Technologies 社の商標です。

Microsoft, MS, MS-DOS, Windows, Windows NT は、米国 Microsoft 社の商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(SCSI コントローラ AHA-2940W に接続する場合)
DAT または DLT を取り付けて、SCSI ケーブルを次の図のように接続してください。SBB は本体
前面右のホットスワップベイに取り付けます。

μ S

SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(SCSI コントローラ AHA-2940W に接続する場合)

記号
構成部品

A

40 ストレージバックプレーン (ホットスワップベイの背面パネル)

41

42 B

43 Wide SCSI ケーブル

44

45 C

SCSI 装置用 Wide/Narrow 変換コネクタ

D

CD-ROM ドライブ

E

バックプレーン用 Wide SCSI ターミネータ

F

Wide SCSI ジャンパケーブル

G

Wide SCSI コントローラ AHA-2940W

H

Wide SCSI コネクタ

L

DAT または DLT

- SCSI装置の装着およびケーブルの接続(RAID コントローラを装着する場合)
- RAID コントローラおよび、DATまたは DLT を取り付けて、SCSI ケーブルを次の図のように接続してください。SBB は本体前面右側のホットスワップベイに取り付けます。RAID コントローラは PCI Slot1 または 2 に装着してください。PCI Slot 4～6 には装着できません。
-
- μ s
-
- SCSI装置の装着およびケーブルの接続(RAID コントローラを装着する場合)
-
- 記号
- 構成部品
-
- B
- Wide SCSI ケーブル
-
- C
- SCSI装置用 Wide/Narrow 変換コネクタ
-
- D
- CD-ROM ドライブ
-
- E
- バックプレーン用 Wide SCSI ターミネータ
-
- G
- Wide SCSI コントローラ AHA-2940W
-
- H
- Wide SCSI コネクタ
-
- I
- PCI Wide SCSI RAID コントローラ
-
- J
- 2nd チャネル用内部ケーブル
-
- K
- **Wide SCSI ケーブル用ターミネータ**

46

47 L

DAT または DLT (テープ装置は AHA-2940W に接続します)

3.Quick Launch によるセットアップ

オプション装置の装着が終わったら、Quick Launch CD-ROM から起動してセットアップを行います。次の手順で設定してください。

コンピュータの電源を入れてシステムを起動します。

CD-ROMドライブに Quick Launch CD-ROM を挿入すると CD-ROM から起動します。この時、次のメッセージが表示された場合には[F1]キーを押して続行してください。

Press <F1> to resume,<F2> to Setup

使用言語の選択画面が表示されたら「6 Japanese」を選択してください。

- SCU が起動したら、「Main Menu(メインメニュー)」から「Configure Computer(システム環境設定)」を選択してください。メニューが表示されたら、「Step 3: View or Edit Details(設定値の表示と編集)」を選択してください。
-
- 各項目を次のように設定してください。
- System - Digital Prioris System Board
- System Processor Type ... Pentium(TM)
- System Processor Clock ... *** MHz
- System Base Memory ... 640 KB
- System Extended Memory ... ***** KB, AT Bus Space Disabled
- 1. System BIOS ... PhoenixBIOS(TM) Version *.*

Diskette Drive Group

- Onboard Diskette Controller ... Enabled
- Diskette Drive A: ... 3.5 inch 1.44 MB drive
- Diskette Drive B: ... Not installed
- Exchange Diskette Drives ... Disabled
- Diskette Write Protection ... Disabled
-

Hard Disk Group

- Hard Drive 1 ... Not Installed
- Hard Drive 2 ... Not Installed
- Large Drive Access Mode ... DOS
-

Boot Options Group

- Boot option ... A: then C:
- SETUP prompt ... Enabled
- POST Errors ... Enabled
- Floppy check ... Enabled
- Summary screen ... Enabled
-

Keyboard Features Group

- Numlock ... Auto
- key Click ... Disabled
- Keyboard auto-repeat rate ... 30/sec
- Keyboard auto-repeat delay ... 1/2 sec
-
- Serial Port Group
- Serial Port 1 ... Enabled at: 3F8h-3FFh(IRQ4)
- Serial Port 2 ... Enabled at: 2F8h-2FFh(IRQ3)
-
- Parallel Port Group
- Parallel Port ... Bi-Directional Mode :378h-37Ah(IRQ7)
- Video Options Group
- Video Type ... VGA or EGA
-

- Shadow Options Group

Shadow Video BIOS ROM ... **Enabled**

47.1 Shadow C8000h-CBFFFh ... **Disabled**

Shadow CC000h-CFFFFh ... Disabled

Shadow D0000h-D3FFFh ... Disabled

Shadow D4000h-D7FFFh ... Disabled

Shadow D8000h-DBFFFh ... Disabled

Shadow DC000h-DFFFFh ... **Disabled**

Security Options Group

Supervisor Password ... **Not Install**

ed

Pass
word
on
boot

...
Disa
bled

Disk
ette
acce
ss

...
User

Fixed
disk
boot
secto
r

...
Nom
al

Netw
ork
Serv
er

...
Disa
bled

Syst
em
back
up
remi
nder

...
Disa
bled

Virus
chec
k
remi
nder

...
Disa
bled

Cach
e
Optio
ns
Grou
p

Inter

nal
Cach
e
...
Enab
led

Exter
nal
Cach
e
...
Enab
led

Cach
e
Syst
em
BIOS
ROM

47.2 ... Enabled

47.3 Cache Video ROM ... Enabled

47.4

Reserved System Resources ... Configuration file and overlay
Version V*.*

Mouse Port ... Enabled
PCI Arbiter Priority ... System Default
OCP Server Timer ... 5 min
OCP Backlight ... On

PCI Slot 1 Options Group *

PCI Slot 1 INTA, **INTD** ... **One IRQ required** :IRQ10([F6]キーで表示,変更
可能)

PCI Slot 1 INTB

...
None
PCI
Slot
1
INTC

...
None
PCI
Slot
1
Default
Latency
Time

r...
No
PCI
Slot
1
Device
Latency
Time
r ...
40h

PCI
Slot
2
Options
Group
PCI
Slot
2
INTA,
INTD

...
None
PCI
Slot
2
INTB

...
None
PCI
Slot
2
INTC

...
None
PCI
Slot
2
Default

Late
ncy
Time
r...
No
PCI
Slot
2
Devi
ce
Laten
cy
Time
r ...
40h

PCI
Slot
3
Optio
ns
Grou
p
PCI
Slot
3
INTA,
INTD

...
One
IRQ
requi
red
:IRQ1
1([F6
]f□,•
之,变
更

可能)

48 PCI Slot 3 INTB ... None

PCI Slot 3 INTC ... None
PCI Slot 3 Default Latency Timer... No
PCI Slot 3 Device Latency Timer ... 40h

- PCI Slot 4 Options Group
- PCI Slot 4 INTA, INTD ... None
PCI Slot 4 INTB ... None
- PCI Slot 4 INTC ... None
- PCI Slot 4 Default Latency Timer... No
- PCI Slot 4 Device Latency Timer ... 40h

- - PCI Slot 5 Options Group
 - **PCI Slot 5 INTA, INTD** ... None
 - **PCI Slot 5 INTB** ... None
 - PCI Slot 5 INTC ... None
 - PCI Slot 5 Default Latency Timer... No
 - PCI Slot 5 Device Latency Timer ... 40h
 -
 - * PCI RAID コントローラを装着している Slot を設定します

- PCI Slot 6 Options Group
- PCI Slot 6 INTA, INTD ... None
- PCI Slot 6 INTB ... None
- PCI Slot 6 INTC ... None
- PCI Slot 6 Default Latency Timer... No

- PCI Slot 6 Device Latency Timer ... 40h

CL-GD5428 VGA graphics Controller
 CL-GD5428 VGA Accelerator ... Graphics: Color and Mono
 Vertical Retrace Interrupt ... Interrupt Disabled

Slot 3 - 3Com 3C579 EISA Network Adapter
 Interrupt Request Level ... 5
 Boot PROM Size ... Disabled
 Transceiver Type ... On-board coax :Ethernet ケーブルを接続するコネクタ
 を選択します。

設定が終わったら [Esc] キーを押した後「Step 5: Save and Exit(保存と終了)」を選択します。ここで、自動的にリセットされて CD-ROM から起動します。

RADI コントローラを装着していない場合には、DOS パーティションを作成する画面が表示されます。ここでは 90MB に設定します。パーティションが作成された後、自動的に再起動されます。もう一度 CD-ROM から起動すると、DOS パーティションに各種ユーティリティがコピーされた後 Quick Launch のメインメニューが表示されます。

RAID コントローラを装着している場合には、RAID コンフィギュレーションユーティリティが起動されます。ここで RAID コントローラの設定および論理ディスクの作成を行います。RAID の設定については RAID コントローラに付属のマニュアルをごらんください。RAID の設定が終わったら、RAID コンフィギュレーションユーティリティを終了します。

DOS パーティションを作成する画面が表示されますが、ここでは何も入力せずに [Ctrl][Alt][Del] キーを押してシステムをリセットしてください。CD-ROM から再起動すると、DOS パーティションを作成する画面が表示されます。ここで、パーティションサイズを 90MB に設定してください。パーティションが作成された後、自動的にリセットされます。もう一度 CD-ROM から起動すると、DOS パーティションに各種ユーティリティがコピーされた後 Quick Launch のメインメニューが表示されます。

Quick Launch Version1.4 のメインメニューでは次のことが実行できます。

メニュー

機能

[Quick Launch の使い方]

Quick Launch の使用方法の説明(英語)

[ソフトウェアのインストール]

ソフトウェアのインストール支援

[高速(Express)]

Windows NT Server 3.51 または NetWare 4.1 をメニューにしたがって必要な情報を入力するだけでインストールすることができます。NetWare 3.12 では使用できません。

[標準(Conventional)]

各 OS 用のドライバおよびユーティリティディスクの作成

[複製(Replicate)]

高速インストールで作成される REPLICAT.INI ファイルを使用して、同一構成のサーバをインストールすることができます。NetWare 3.12 では使用できません。

[オンライン

ドキュメンテーション]

Readme(日本語)および PRIORIS Server シリーズの各種マニュアル(英語)の表示

[サービス情報]

サービス情報の表示

[?(ヘルプ)]

ヘルプの表示

また、ハードディスクの DOS パーティションには次のユーティリティがインストールされています。これらのユーティリティはハードディスクから DOS を起動した後、実行することができます。

ユーティリティ
ディレクトリ
実行ファイル

診断プログラム
C:\DIAG\
DIAGNOSE.BAT

RAID ユーティリティ
C:\RCU\
RAID.BAT

SCU(System Configuration Utility)
C:\SCU\
SCU.BAT

EZ-SCSI
C:\EZSCSI\
DOSINST.BAT

Quick Launch を終了した後の DOS 画面および、ハードディスクから DOS を起動した場合には、101 キーボードの設定になっています。標準装備の 106 キーボードでは押したキーと入力される文字が一部異なります。次の表にしたがってキー入力してください。

入力したい文字
押すキー
入力したい文字
押すキー

≠または、
[]
]
[]

=
[Shift][;]
≍
[Shift][@]

**
[Shift][8]
≍
[Shift][]

=
[^]
"
[Shift][:]

+
[Shift][^]
&[Shift][7]

[Shift][-]
[:]

<
[Shift][9]
[Shift][6]

>
[Shift][0]
@
[Shift][2]

[
[@]

4. ユーティリティおよびドライバディスクの作成

Quick Launch を使用して、各種ユーティリティおよび Windows NT Server 3.51 用のドライバディスクを作成することができます。Quick Launch Version 1.4 を使用している場合、Windows NT Server 3.51 をインストールするためにドライバディスクを作成する必要はありません。RAID コントローラのドライバは RAID コントローラに付属のドライバを使用し、その他のドライバはすべて Windows NT Server 3.51 に付属のものを使用します。ここでは、ユーティリティディスクのみを作成します。ここで作成するユーティリティはハードディスクの DOS パーティションにもインストールされており、DOS を起動した後にハードディスクから実行することができます。しかし、システムが起動しなくなった場合に備えて、緊急用にディスクを作成しておくことをおすすめします。次の手順でディスクを作成してください。

Quick Launch のメインメニューから [ソフトウェアのインストール] アイコン、[標準 (Conventional)] タブ、[Windows] アイコンを順に選択します。[Windows NT Server 3.51] を選択して [続行] ボタンを押します。

次のようなユーティリティおよびドライバの一覧が表示されます。ディスクを作成するのは、Prioris 1/4 1/2 AN YI P U 1/4 Y O A O A (SCU)および診断 ISU, P x N(Diagnostics)だけです。

3COM EISA Ethernet,3c579x
3COM ISA Ethernet,3c509B
Adaptec 2940,2940W,3940W,and On-board PCI SCSI Controller
Cirrus On-Board Video Adapter
CMD On-board IDE Controller
Diamond Stealth64 PCI Video Adapter(S3 964), Windows NT
Diamond Stealth64 PCI Video Adapter(S3 864), Windows NT
Digital EISA FDDI DEFEA
Digital PCI Ethernet,DE435
Digital PCI Ethernet,DE500
Logitech Mouseware
Matrox Millenium Video Adapter,Windows NT
Mylex Configuration and Utilities
Mylex EISA and PCI RAID Controller
Prioris 1/4 1/2 AN YI P U 1/4 Y O A O A (SCU)
Proteon EISA Token Ring 1990+, 1 of 2
Proteon EISA Token Ring 1990+, 2 of 2
Racal PCI Ethernet T2
ZNYX PCI Ethernet,ZX312
診断 ISU, P x N(Diagnostics)

Prioris 1/4 1/2 AN YI P U 1/4 Y O A O A (SCU)を選択した後、フォーマットした 2HD のディスクを挿入して[続行]ボタンを選択すると、次のような画面になります。ここでは作成するディスクのラベルが表示されますので、これをディスクのラベルに記入してください。[Enter]キーを押すとディスクが作成されます。

Digital Equipment Corporation

Prioris ** Server
System Configuration Utility
- English - Release *.*

All Rights Reserved
(c) 1992 Micro Computer Systems
(c) 1994 Microsoft Corp.
(c) 1995 Digital Equipment Corp.

Insert a blank high-density diskette in drive A:.
Press ENTER to extract, or ESC to exit -

同様に診断 ISU, P x N(Diagnostics)のディスクも作成してください。

5.Windows NT Server 3.51 のインストール

Windows NT Server 3.51 をインストールする場合には Quick Launch の高速(Express)インストールを使用することができます。次の手順でインストールしてください。

Quick Launch のメインメニューから[ソフトウェアのインストール]アイコン,[高速(Express)]タブ,[Windows]アイコンを順に選択します。[Windows NT Server 3.51]を選択して、[続行]ボタンを押します。

次の画面が表示されたらインストールしようとする Windows NT Server の構成に合わせて各項目を選択または値を入力してください。

×²³/₄Y¹/₂O°ÄP の項目で[同時使用 Ö°»P 数]を選択した場合は、クライアントライセンス数を入力するポップアップメニューが表示されます。ここで、購入したクライアントライセンスの数を入力してください。

Windows NT Server 3.51 は、[接続クライアント数]または、[同時使用ユーザ数]の 2 つのライセンスモードを持っています。どちらのライセンスモードを選択すべきかは、使用する環境によって異なります。ライセンスモードについての詳細は、Windows NT Server 3.51 のマニュアルを参照してください。

NT インストール

氏名
組織名
»°EP 名

[PC 事業本部]
[日本 DEC]
[PRIORIS]

ìSÛÄP, ÄID
NT ServerÄ²ìB
×²³/₄Y¹/₂O°ÄP

[*****]
[ìB×²[ÖÄPÖ²Y°YÄÛ°× ↓]
[同時使用 Ö°»P 数 ↓]

Ä²Ñ¿P°Ý

[(GMT+09:00) 東京, 大阪, 札幌, Seoul, Yakutsk ↓]

È-ÄÛ°.

○ Ü° . PÜ°ìB 名
■ NWLink を ²Y¹/₂Ä°Û

● ÄPÖ²Ý 名
■ NetBEUI を ²Y¹/₂Ä°Û

ÄPÖ²Ý 名
■ TCP/IP を ²Y¹/₂Ä°Û

[DOMAIN]

[戻る(P)] [続行(D)]

各項目に入力したら[続行]を選択してください。

次の画面が表示されたら Quick Launch CD-ROM を取り出して Windows NT Server 3.51 の CD-ROM を挿入してください。CD-ROM を挿入したら[1]キーを押してください。自動的に Windows NT Server 3.51 がインストールされます。

Microsoft Windows NT ServerìBÛ°Ä²Ý, P¹/₄ÄÑ CD を
CD-ROM ÄP×²ìB に挿入して下さい。

1 で継続
[CTRL]+[C] で Quick Launch を終了

Prioris ServerWORKS(tm) Quick Launch V*.*

インストール中に次の画面が表示されたら、[Enter]キーを押して Windows NT Server をインストールするパーティションを作成しフォーマットしてください。インストールが続行されます。

Windows NT Server セットアップ

=====

選択したパーティションまたは未使用の領域は、Windows NTを組み込むには小さすぎます。少なくとも 97MB (1MB = 1,048,576 バイト) のパーティションまたは未使用の領域を選択してください。

Enter=続行

この後、数回再起動しながら Windows NT Server がインストールされます。インストールが終了すると、ログイン画面が表示されます。Administrator アカウントでログインしてください。

6. インストール後の作業

インストールが終了した後に次の作業を行ってください。

ディスプレイの設定

インストールが終了した後最初にログインするとディスプレイの設定画面が表示されます。画面の解像度などの設定を行ってください。

IP アドレスの設定

TCP/IP をインストールした場合、DHCP で IP アドレスを取得する構成になっています。IP アドレスを指定する場合には、コントロールパネルからネットワークを選択して設定してください。

RAID コントローラのドライバの変更

RAID コントローラを装着している場合には、RAID コントローラのドライバを入れ替えます。次の手順で行ってください。

プログラムマネージャのメイングループから [Windows NT セットアップ] を起動します。

[設定] メニューから [SCSI アダプタの追加と削除] を選択します。

[Mylex DAC960/DEC DAC-Ex] を選択した後、[削除] を選択します。

[追加] を選択するとインストールするアダプタの選択画面になります。[その他(ハードウェアメーカーのディスクが必要です。)] を選択します。

RAID コントローラに付属のドライバディスク「DAC960 Software Kit」を挿入してパスを指定します。

A:\NT_35

[Mylex DAC960 Disk Array Adapter] が表示されたら、[OK] を選択します。

[Mylex DAC960/DEC DAC-Ex] を選択して [組み込み] を選択します。

次に [新しいドライバ] を選択すると、ドライバのパスを入力する画面が表示されます。ここで、次のパスを指定して [OK] を選択します。

A:\NT_35

[Mylex DAC960/DEC DAC-Ex] が追加されたことを確認して、[閉じる] を選択します。

以上でドライバのインストールは終了です。Windows NT Server を再起動してください。

RAID ユーティリティのインストール

RAID コントローラを装着している場合には RAID コントローラのユーティリティをインストールします。次の手順で行ってください。

RAID コントローラに付属のドライバディスク「DAC960 Software Kit」を挿入して次のコマンドを入力してください。

A:\>copy a:\nt_35\dacadm.exe d:\winnt35\system32

A:\>copy a:\nt_35\dacmon.exe d:\winnt35\system32

コピーした実行ファイルを [管理ツール] グループにアイコン登録してください。

dacmon.exe は [スタートアップ] グループにもアイコン登録してください。

テープドライブのインストール
テープドライブとして DAT SDT-5000(FR-PCXAT-AF)または DLT(FR-PCXAT-AF)を装着している場合には、テープドライブをインストールする必要があります。テープドライブのインストールは次の手順で行ってください。

メイングループから[Windows NTセットアップ]アイコンをダブルクリックして起動します。

[設定]メニューからテープデバイスの追加と削除を選択します。

[追加]ボタンをクリックした後、装着しているテープドライブ用のドライブ名を選択して[組み込み]ボタンをクリックします。

装着しているテープドライブ
ドライブ名

DAT SDT-5000(FR-PCXAT-AF)
4 mm SONY ドライブ

DLT (FR-PCXAT-AF)
Digital TZ86, TZ87, DLT2000

Windows NT Server 3.51 の CD-ROM の i386 ディレクトリのパスを指定します。

Windows NT セットアップを終了します。

Windows NT Server を再起動するとドライブがロードされて、テープドライブが使用できるようになります。

SCSI コントローラの設定

複数の Adaptec SCSI コントローラを使用する場合または、RAID コントローラを同時に装着する場合、ハードディスクが装着されていない SCSI コントローラがあると電源投入後に次のメッセージが表示されることがあります。

Press <F1> to resume, <F2> to Setup

[F1]キーを押せばこのまま使用することができますが、ハードディスクが接続されていない SCSI コントローラの BIOS を Disabled(無効)に設定すればこのメッセージは表示されなくなります。SCSI コントローラの BIOS を Disabled(無効)に設定するには、SCSISelect ユーティリティを使用します。SCSISelect はシステム起動時に、SCSI BIOS が表示されている時に[Ctrl][A]を押すと起動します。また、**CD-ROM から起動する場合には、その時だけ SCSI BIOS を Enabled(有効)に設定してください。**

動作確認

インストール後、上記のすべての作業が終わったら再起動して、Windows NT Server 3.51 が正常に動作していることを確認してください。